

伊東市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和5年6月23日（金曜日）

午後2時30分～午後4時30分

2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室

3 出席者 教育長 高橋 雄幸 委 員 村上 恵宏

委 員 沼田 芳美 委 員 遠山 泰範

委 員 辻 恵

4 参 与 教育部長 浜野 義則 次長兼教育総務課長 杉山 宏生

教育指導課長 関野 耕一 生涯学習課長 山下 匡弘

5 事務局 教育総務課課長補佐 二宮 悠 主事 松岡 翔太

6 会議の経過

高橋教育長：ただ今から伊東市教育委員会6月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

（**事務局**から出欠報告及び資料確認）

高橋教育長：それでは議事に入る。始めに、教育長報告を行う。6月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

5月23日 第一回市社会教育委員会、幼稚園園長会要望

24日 人事評価制度校長面談

25日 いでゆ大学開講式

26日 運動会訪問（富戸小）、伊東市防犯協会総会、
伊東市交通指導員定期総会

27日 運動会訪問（宇佐美小、大池小、池小、八幡野小）、
音の宝石箱コンサート

28日 ごみゼロ運動クリーン作戦、加藤清志先生を偲ぶ会

- 29日 「新図書館建設」市民説明会
- 30日 ランチミーティング（職員）
- 31日 高校教育課・伊豆伊東高校校長との懇談会、
伊東市文化協会総会、ランチミーティング（職員）
- 6月 1日 ランチミーティング（職員）
- 2日 教頭会、伊東警察署交通規制審議会
- 3日 「ヴァイオリニスト村田穂積氏」を囲む会
- 4日 運動会訪問（伊東小、南小）
- 7日 幼稚園支部組合要望
- 8日 伊東市懲戒分限審査委員会、MOA美術館理事来庁
- 9日 市議会質問通告
- 12日 伊東市校長会要望
- 13日 静岡県市町対抗駅伝競走大会伊東市実行委員会
- 14日 市議会（一般質問）、社会教育委員表彰報告（大村氏）
- 15日 市議会（一般質問）
- 16日 市議会（一般質問）
- 17日 小学生ふるさと教室開講式
- 18日 第50回伊豆フィル定期演奏会、子どもお能教室修了式、
伊東市文化協会懇親会
- 19日 市議会（議案審議）
- 20日 市議会（福祉文教委員会）、山下怜ハーモニカコンサート
- 21日 東部社会教育振興協議会研修会
- 22日 タウンミーティング（玖須美）
- 23日 定例教育委員会、静岡県教職員組合役員来庁

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

(報告なし)

高橋教育長：校長会から、運動会の来賓について、今年度は、区長とPTA会長だけでやらせて欲しいと申し出があったので、ご承知おきいただきたい。

高橋教育長：次に議題に入る。始めに、議決事項、教議第1号「伊東市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について」を議題とする。

(杉山次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：それでは、この件について確認する。教議第1号「伊東市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

高橋教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第1号については原案どおり決定した。次に、教議第2号「伊東市立幼稚園一時預かり事業実施規則の一部を改正する規則について」を議題とする。

(浜野教育部長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：保護者からの希望に応じての対応で保護者も喜ぶだろうと思います。ただ、承認はするが、子どもたちにとって30分長くなることがどうなのかという観点から保護者の都合を優先してしまい、子どもの負担にならないように、きちんと記録を取り、チェックをして、見守ってほしいと思う。

浜野教育部長：貴重なご意見ありがとうございます。園の現場にも、そういった意見があったことを伝え、検討するよう申し伝えます。

高橋教育長：子どもの視点でご意見いただき、ありがとうございます。

高橋教育長：これは組合も理解をしていると、捉えていいのか。

浜野教育部長：園長会で提案して承認されていますので、当然、何らか組合にも、労働条件が関わってくることなので、言ってもらえていると思う。協議の内容の結果については把握していないが、幼児教育課長は把握しているかと思うので、改めて確認する。P T A会長から要望書が提出され、それを受けて決定した。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：それでは、この件について確認する。教議第2号「伊東市立幼稚園一時預かり事業実施規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認してよろしいか。

（異議なし）

高橋教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第2号については原案どおり決定した。以上で議決事項を終了する。次に、報告事項に入る。教報第3号「令和5年度夏季休業中における児童生徒の指導上の留意事項について」を議題とする。

（**関野教育指導課長**から資料に沿って説明）

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：小学校から中学校に進学した子を持つ方から聞いた話だが、小学校と違い、中学校はとても忙しく、家族で過ごす時間が取れないと聞いた。うまく順応できる子であればよいが、そうでない子は、不登校のきっかけになってしま

うとも聞いた。小学校では出来ていた夏休みの楽しい計画も、できなくなってしまうとのことだった。もう一点、参考になる資料の提示がされているが、活用された例があれば伺いたい。

高橋教育長：中学校が忙しいことについては、そのとおりだと思う。中1ギャップの要因のひとつだとも思う。部活動の影響も大きい。休止期間も定めているが、親と時間が合わないケースもあると思うので、考えていかないといけない。

委員：塾や習い事も多くなり、ゆとりが持てていないと思う。

委員：確かに中学校は忙しくなると思う。部活や塾、通学時間とそれぞれ増えている。家族団らんの時間は限られ、休みの期間も集中するので、費用も高い。

高橋教育長：自分が現場にいた際は、観光に従事される方が多いので、夏休みは子どもの面倒が見られないとも聞いた。地域特性もある中、子どもたちは自分たちで計画してやっているとも思うが、家族という基本の形が取りにくいと思う。

委員：人にもよると思うが、中学生になると思春期で家族と距離を取るようなこともあると思う。

高橋教育長：思春期を迎える中で、親よりも友達と過ごしたいという時期でもあるかと思う。いろいろな考え方がある。ただ、夏休みの過ごし方について、家庭でも計画を立てていかなければならない問題だと思う。

関野教育指導課長：資料について、主に学校の中で使うものとしては、保健体育や学級活動で使うものが多い。やはり全部ということではなく、例えば一つ目の生徒指導の資料も、本来は教師が使っており、子どもたちが目にすることはほとんどない。携帯スマホに関する資料や、かけがえのない健康という資料は保健の授業で使われるものである。携帯スマホに関しては、外部からの講習

会で使われていたりする。LINE相談等については、こういった相談機関もあるよというようなことを伝えて活用している。

委員：委員の質問に関連して、家庭で道徳性を育むよう保護者に働きかけるとあるが、これは教育相談や三者面談で、先生から保護者に説明をするのか。

関野教育指導課長：面談の中ですべてではないが、家庭の事情に合わせて、ケースバイケースで、適宜声をかけている。

委員：各家庭にも事情があると思う。最近、コミセンに集まってゲームをして、お昼はコンビニで買って、またコミセンに戻って一日を過ごす、という子を多く見かける。家庭の事情もあると思うが、あまり良くないと感じる。子どもと親で話をする時間、ルール作りが出来ればと思う。先生からの指導にも限界があると思う。特に夏休みは子どもが自由になる時間が増えすぎて、良い環境ではない。また、参考資料についても、紙だけ渡されても、あまり見ないと思う。これをもっとうまく活用できるようにしていただきたい。ほかの自治体でうまく活用方法などないだろうか。

高橋教育長：貴重な意見だと思う。夏休みの子どもの居場所については、市としてどうしていくか考えていきたい。

委員：学年で言うと多いのは小学生なのか、中学生なのか。

委員：小学生だと思う。

高橋教育長：中々難しい問題だと思うが、いろいろな組織と情報交換をしながら対応していきたい。

委員：保護者としても良しとしている面があるのではないか。

関野教育指導課長：委員ご指摘のとおり、資料の活用は課題の一つだと考えている。学校とも相談をし、他市町の情報を仕入れながら、調査研究を進めていきたい。

委員：伊東小学校が合併し、学区が広がった。夏休みになり、子どもたちの行動範囲が広がることで、今まで遊ばなかった地域に出ることになる。どのような対応をするかは、適宜の対応になるかと思うが、次の冬休みに向けて、対応していただきたい。

関野教育指導課長：委員ご指摘のとおりだと考えている。学校とも相談をしながら、対応していきたい。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：以上で報告事項を終了する。次に、その他「市議会 6 月定例会の報告について」を議題とする。

(**浜野教育部長**から資料に沿って説明)

高橋教育長：今、骨子について説明をしていただいたが、議員さんが教育に興味を持っていただき、非常にありがたいと思っている。質問も多くなっている部分があるかもしれないが、丁寧に答弁を作っている。その中で、何かもう少し聞いてみたいと思われることがあれば、答えられる範囲で答えていきたい。

委員：今回、新図書館に関する質問がすごく多かった。私は新図書館の策定委員でもあり、先日の説明会にも、一市民として参加させていただいた。説明会では、様々な意見が飛び交い、私的には批判的な意見が多かったように思えた。私は一市民として意見を言わせていただいたが、私はこの図書館をすごく楽しみにしている。この図書館は、小中高生の利用が増え、勉強もできるスペースがあり、話し合いができるスペースもあり、子どもが活用しやすい形になっていると思う。小さい子ども連れの母親も、行きやすい図書館だと思う。議員さんもいろいろと考えて質問されていると思う。ただ、今回入札が不調になった

が、この工事価格の予算はいつごろ算出されたものなのか。

山下生涯学習課長：金額 37 億円については、令和 5 年度と 6 年度の 2 年間にわたる債務負担行為ということで、今年の 3 月定例会で提出している。

委員：以前も同様の話を伺ったが、今、資材が高騰しており、4 割も上がっているのです、厳しいのだと思う。今後、設計の見直しなどは入っていくのか。

山下生涯学習課長：2 回目の入札に向け、設計の見直しを行っている。建物の構造を変えてしまうと、再度、建築確認等を行わないといけないので、今の形で、中の部材を代替して、金額を圧縮し、予算に収まるような形にしていきたい。

委員：着工や開館も遅れてしまうのか。

山下生涯学習課長：はい。

委員：国の補助金も決まっている中で、私としては中途半端なものは作って欲しくない。町のミュージアムとして、シンボルとなるような、いいものを作りたい。ひだ壁や窓が多いことへのコストの意見などは当然出るかと思っていたが、他の委員さんはどう思っているのか、伺いたい。

高橋教育長：図書館について、いろいろと議論がされていることはご存知だと思うが、界限で図書館について、どのような話題になっているのか教えていただけたらと思う。

委員：入札の不調について、自分も全然分からないところがあるが、市内の業者さんが使われていないというような話も聞いた。実際、そのあたりはどのようなになっているのか。

山下生涯学習課長：入札に関して、5 月 25 日に入札の結果が判明したが、当初、入札参加を表明した 2 共同企業体のうち、1 共同企業体は辞退、もう 1 共同企業体が予定価格を上回り、不調という形になった。共同企業体については、

いわゆるゼネコンに地元企業を加えたジョイントベンチャーで入札に参加してください、という制限を加え、地元企業が参加できるようにしている。

高橋教育長：建築については自分も詳しくはないが、建設部局もかなり細かくラインを出しており、これは間違いないことだと思う。ただ、物価高騰等があり、このラインを超えてしまっているのだと考えている。もう一度入札をやるということで、生涯学習課でやっていますので、その辺、また見守っていただきたい。状況としては、このような状況にある。他、図書館について、聞きたい内容はあるか。

委員：委員がおっしゃった周りの声というのは、私はあまり意識していなかったこともあるが、あまり多く話題に出ていないと思った。今度、積極的に聞いてみたいと思う。新聞では何度か取り上げていたようで、私も記事を読んでいたが、私の周りで話題に出たことはなかった。一部で意識をしている人がいて、そうでない人が全体で多数という状況かもしれない。どうやって皆さんに意識を高めていただければよいか分からないが、個人的には楽しみである。自分自身も学生時代に友達と集まって勉強をした記憶がある。図書館が綺麗に、使いやすくなり、充実すれば、子どもにとっても、保護者にとっても、良い場所になると思う。

委員：私も全く同じで、近所の方と図書館の話はしたことがなかった。民営化が進むということで、見守っていくしかないという気持ちもあり、もう少し意識を持っていきたい。

高橋教育長：状況としては、共通理解が出来たと思う。

委員：新しい図書館に関して、浸透されていないとも思ったが、例えば、小中高生に新図書館の紹介をすると、子どもたちのイメージも膨らむのかと思った。大人向けも必要だが、子ども向けの説明もできればいいなと思う。また、素晴

らしい規模の図書館となるので、防災教育や学校の授業で活用できる図書館になればいいと思う。スペースも広く、様々な方がいらっしやると思うので、総合的な学習の時間でも活用できると思った。

高橋教育長：ありがとうございます。いろいろと意見をいただきましたが、できることを一つ一つ積み上げながら、進んでいきたいと思っている。また、意見も出していただき、進捗具合を情報提供しながら、皆さんも市民目線で話を聞かせていただければ、ありがたい。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：また見ていただき、何かあれば言っていたらと思う。

浜野教育部長：議会については、ネットでも見ることができます。実際にどういった質問があり、教育長がどう答えて、その後の第二質問、当局の回答を見ることができます。また、ケーブルテレビでも時々やっているようです。生の姿としては、そういった形でも見るすることができます。また、本日の資料を読んでもいただき、分からないところや、この後どういった議論がされたのだと質問いただければ、ご説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

高橋教育長：次に、その他「常任福祉文教委員会協議会の報告について」を議題とする。

(杉山次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：トイレについて、多目的トイレは男女それぞれなのか。それとも男女どちらでも使えるトイレなのか。今、ジェンダーの話題も多く出てきており、男女を分けてしまうと、気持ち的に辛い子もいると聞く。多目的で、男女どちらも使える広いトイレを導入できないものかと考えました。

杉山次長兼教育総務課長：委員ご指摘のジェンダーフリーのスペースについても検討をしたが、男女どちらからも入れる空間の確保は難しい部分もあり、男女双方に多目的トイレを設置する形で、今回は対応している。

委員：難しい部分もあり、デリケートな話だが、考えていかなければならない。大きい規模で予算もかかることなので、機会に合わせて、うまく進めていけたらと思う。

高橋教育長：ジェンダーについては、非常に重要な課題ですので、伊東市がそういうことでも、最先端のような形で行けば良いかなと思っている。トイレ改修については、様々な視点を持ちながら取り組んでいきたい。学校のトイレだけではなくて、いろいろとありますので、大きな課題だと思っている。

杉山次長兼教育総務課長：本当に重要な課題と捉えているが、現行のスペースの中で考えると、無理が生じてしまう。空間を増やすといったことも検討しなければならないと考えている。

委員：今の関連で、県内他市の小中学校では、そういったジェンダー対応のトイレが備わっているところはあるのか。

高橋教育長：調べていないので、具体的には分からないが、方向としてはそういった方向に進んでいくと思う。

委員：これから新しくできる学校はあまりないと思うが、そういった対応で改修されていく考えでよいか。

高橋教育長：増えていくと思う。ただ現状はスペースの問題もあり、今のような形になるが、方向としてはそういった方向でいくべきだと思う。

浜野教育部長：例えば、これから新築する施設や、大規模改修については、そういった前提の設計がされるかと思うが、現状、施設が古かったり、狭かったりすると、なかなか難しいところもあると思う。ただ、世の中の流れとして、

いろいろな市の取り組みもあるので、そこは情報収集していく。南中学校は来年、残り半分をやりますので、そこで反映できるか、同じ建物で厳しいとは思いますが、良い取り組みをしている自治体を研究させてもらいたい。

委員：近隣ですと、今、修善寺が中学校四つを統合し、新築工事をしているかと思う。今から建つ学校なので、どうなのだろうか。

杉山次長兼教育総務課長：そこは確認させていただく。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、その他「伊東市議会常任福祉文教委員会委員との意見交換会（スクールバス・路線バスを利用した通学の実態及び課題について）」を議題とする。

(杉山次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

高橋教育長：今日の新聞には、東海バスも黒字になったと記事が出ていたが、運転手がない、人手不足ということが根底にある気がする。やはり企業なので儲けなければならない。その辺りを、工夫をしながらやっていただいていると理解している。いろいろと工夫をして、一生懸命やられており、教育委員会とも連携してやっていただいている。意見を聞いていただいて、良い関係で進めている。こちらの都合で、細かく時間を合わせてくれ、ということは、企業としてはなかなか難しい面もあるかと思う。伊東小学校のスクールバスについては、大きな問題は今のところないと報告を受けている。

委員：伊豆伊東高校になり、こちらでもやはりバスが減った。伊東駅から荻、吉田を経由し、伊豆伊東高校に行くバスが2本から1本になった。これが全然乗れない状態であり、吉田の子は、ほぼほぼ歩いて通学しているとのことだ。下

校時間のバスも本数が減っている。高校生は定期券を持っている子もいれば、東海バスが出している市内どこでも乗れるスクールバスを持っている子もいるが、結局それを持ってもバスがない状態である。高校や保護者からも苦情が出て、高校も生徒に要望を取ったそうだ。なのでバス問題は、南中学校の生徒も川奈方面から来られる方は大変だと思う。人がいなければ、どうしようもないが、事故がないようにしてもらえればと思う。

委員：確かに東海バスの本数が減り、混むようになった。本数が減っているで、待ち時間も増えた。伊東駅から新井行きが減り、新井経由小室行きというのが何本か入るようになった。すごく混むようになり、子どもたちが乗れないらしいという話は聞く。

高橋教育長：学生だけではなくて、市民の足の問題になっていると思う。伊東も厳しいというが、伊豆半島の南の方に行くと、本当にバスがない。人は住んでいるが、路線がカットされている。高齢者の方はどうやって生活するのか、という声を聞いたこともある。伊東もこれからそういった時代に入っていく可能性はあると思っている。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

杉山次長兼教育総務課長：特になし。

関野教育指導課長：生徒指導について報告する。小学校では、先月同様生徒間暴力が報告されている。小さなトラブルが発端となり、エスカレートするケースが見受けられた。中学校では、4月は緊張感が見られたが、学校生活に慣れる中で、段々と緊張感がなくなり、周囲に気を配らない言動が増えていると報告が上がっている。ただ、累計で見ると若干報告数が少なくなっている傾向が

ある。いじめの認知については、継続性や年齢などとは関係ないとされているので、今後、いじめ認知をしていく上では、いじめの疑いがあれば必ず複数人で対応をし、見逃しがないように判断をしていきたい。最後に不登校については、私も報告をすべて見ているが、3月まで不登校だった子が、4月5月かなり頑張っているケースが見られる。現場の先生方が、本当に良く対応していると考えている。是非、良い報告を基に、不登校が少しでも減るよう支援をしていきたい。次に、前回、委員からご質問があった、加配・会計年度任用職員の配置校について、一覧をお配りしている。

（関野教育指導課長から資料に沿って説明）

山下生涯学習課長：新図書館建設工事について説明する。まず、5月29日午後7時からひぐらし会館において、新図書館の説明会を開催した。それと前後するが、5月25日の新図書館建設工事の開札を行ったところ、1共同企業体は辞退、もう1共同企業体は予定価格内での応札にならず、不調という結果となった。不調の要因としては、資材価格および人材不足による労務費の高騰により、設計価格と実勢価格に乖離が生じたことにある、と分析をしている。入札不調という結果の中で開催された5月29日の説明会においては、サテライト図書館の建設の検討や中高生が来るための方策、小さいお子さんや障害のある方も利用しやすい図書館、省エネの配慮、運営を直営で行うべき、などのご意見をいただいた。また、先ほど部長からの6月議会の説明にもあったとおり、図書館に関する質問を4名の議員からいただいている。入札不調の要因、今後のスケジュール、新図書館の図書館協議会の設置、建設後の運営方法、ランニングコスト等について質問をいただき、お答えをさせていただいた。今後のスケジュールについてご説明する。入札不調を受け、令和6年1月からの着工に向け、再設計を行っている。9月入札、11月開札した後、12月議会で議決、

契約をし、来年１月の着工、２１か月の工事期間を経て、令和８年１月のオープンを目指すような状況となっている。

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：不登校の子どもたちへの対応について、話があったが、先生たちの対応がすごく良かったという保護者の声があった。実際に不登校だったのかは分からないが、学校に行けなかったときに、放課後、話に来ないかと、その子だけに時間を取って対応した先生がおられたと聞いた。先ほどの説明にもあったとおり、先生方の配慮があって、良い方向に行っているのだと思った。もう一点、これは先ほど話題には出ていないが、先日、伊東小学校の運動会を見に行かせてもらった。伊東小学校は準備期間が２か月しかない中で、全校を２部に分け、種目も限って実施をした。本当に短い準備期間で、大変だったのだろうと理解する声も多かったが、やはりもう少し見たいという声もあった。また、自分は前後半の前半の時間に伺ったが、市役所やハローワークの駐車場も車であふれるような状況だった。２部に分けても足りない状況で、前後半入れ替えに差し掛かった際は全く入れない状況で、一度諦めてバスで来たという方もいらっしゃった。学校規模が大きくなったことによる行事の駐車場の問題も非常に大きいと思う。今後、全校行事を行うときには、まったく足りない状況だと思う。そういった状況を目の当たりにした。来年以降もこういった対応ができるのか。平常時の送り迎えについても話があったが、車の対応についても、長期的には増やしていかなければならないと思いました。

高橋教育長：ありがとうございます。自分も伊東小学校の運動会は見学させていただき、駐車場の状況についても拝見した。今後、考えていかなければならない問題だと思う。南小学校も人数的には同じ規模で、自分が見た際は、保護者はほとんど歩いてきていた。南小は駐車場もほとんどなく、市民グラウンド

側にも停めていない。伊東小学校については、初めての運動会なので、車で来た方が多かったと思うが、500台を停める場所もないので、そこは知恵を出し合い、対応していかなければならない問題だと思う。この後、教育指導課長からも話してもらうが、南小は車に関する苦情は少なく、長年のやり方について、地域に理解をしてもらっていると思う。伊東小についても、今後の経過を見ていきたい。どうしても車で来なければいけない家庭もあるので、そこは認めるべきだと思う。中々難しい問題であるので、また意見を聞かせていただきたい。

関野教育指導課長：市内の比較的大きい学校だと、大池小学校、南小学校、以前の東小学校は基本的に車は禁止だった。大池小学校は、近隣のキャンプ場や今は老人ホームとなった駐車場があり、一時期大きな問題になったが、今は人数も減ったことで、問題はない。南小学校は、教育長がおっしゃったとおり、昔から根付いたものがある。東小学校は、以前は車社会ではなかったが、今は学区が広がった問題もあるので、伊東小学校とも相談をしながら、対応していきたい。

委員：児童数も増えて、昔の運動会の様に賑やかだと話す方もいた。そういった意味では、本当に良かったと思う。ただ、車社会も進み、個々で動く方も増えてきているので、今後とも、よろしくをお願いしたい。

委員：伊東小学校の運動会の練習を見る機会があり、1年生は支援員がクラスに2人ついて、一生懸命に指導をされていた。手厚いなと思い、フォローをされる子どもたちも、担任の先生も、以前と比べると幸せそうだなと思いました。

高橋教育長：その他全般的に、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：また、中学校の体育祭の案内が行くかと思う。9月後半、ご参加

できる方は参加していただきたい。

高橋教育長：今後の日程について確認する。

事務局：7月の定例会については、7月24日（月曜日）午後2時30分を予定している。また、定例会前の午後1時30分から、市長との意見交換会を実施する予定なので、4月と同様にぎつくばらんにお話をいただければと思う。8月の定例会については、8月21日（月曜日）を予定とする。

高橋教育長：以上で伊東市教育委員会6月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委 員 村上 恵宏

書 記 松岡 翔太